

「県立げんきプラザ再編整備計画（案）」に対する御意見と県の考え方

1 意見募集期間

令和7年2月10日（月）～令和7年3月9日（日）

2 意見の提出者数及び意見件数

提出者数：84名（個人81／団体3）

意見件数：94件

（内訳）

区分	人数	意見件数
郵送	5	7
F A X	2	3
電子メール	30	36
その他	47	48
合計	84	94

3 意見の反映状況

区分	意見件数
A 意見を反映し、案を修正したもの	0
B 既に案で対応済みのもの	0
C 案の修正はしないが、実施段階で参考とすることとしたもの	5
D 意見を反映できなかったもの	84
E その他	5
合計	94

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
1	元気プラザ再編整備とのことですが、加須市の元気プラザは無くなって欲しくありません。今のままであってほしいです。現在、大学生ですが、幼い頃から加須元気プラザではお世話になっていて、再編整と聞いて驚きました。小学生では青少年の集い、中学生はバドミントン大会やバドミントンの練習、高校生では近隣の高校に通っていたので、何度か訪問し、大学生になってからは毎年行田レクリエーションでのキャンプでボランティアとして参加しました。たくさんの思い出が詰まったこの場所がなくなるのはとても悲しく、これからずっと続いていくと思っていました。そして、また来年も再来年も参加できると思っていたので、それができなくなるのは絶対に嫌です。ボランティアに参加して、子供たちとキャンプをし、子供たちみんなが楽しんでうどんを作ったり、宿泊活動を行う姿をみて、この笑顔がもう見ることができなくなると思うと、寂しいです。また来たいって言っている子供たちがほとんどだったので、そんな素敵な場所、子供たちが夢を作れる場所をなくしてしまうのはどうかと思います。私自身もまた来たいし、これからも加須市の魅力の一つとして感じたいです。体育館やテニスコートはとても使いやすく、綺麗であり、整った環境で利用し続けたい人もたくさんいると思います。だからこそ、絶対になくならないでほしいし、これからも加須にある元気プラザとして利用し続けたいです。どうかご検討の方よろしくお願いします。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。これまで実施されてきた様々な事業のノウハウ等は継続する施設において可能な限り引き継ぐこととし、引き続き充実した体験活動が行えるよう努めてまいります。	D
2	加須元気プラザをどうか継続をお願いいたします。 昨年陶芸講座に関わらせていただき、地域の方々と密接に結び付いていることを目にして、なくてはならない施設だと実感しました。 様々な講座や体験会が毎週のように行われ、それを楽しみにしている県内の方や、元気プラザでの人のつながりで元気に暮らしている方もいます。 外を見るとグループでテニスを楽しんでいたり、陶芸サークルで集まる方々など、元気プラザがあるから病院に行かずに健康を保っている方も多いと思います。 元気プラザがなくなることは、多くの引きこもり高齢者を増やし、精神疾患や健康被害により医療費も上がるなど、思いっただけでも良いことは浮かびません。 県内東側の加須元気プラザがないと、県民サービスとして均等でないと思います。（廃止案では西側に偏ります） 利用料などを値上げはやむを得ないとしても、残すべきだと思います。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。 県の役割を十分に果たすため施設の目的を宿泊自然体験に重点化することとし、秩父地域や西部地域の施設を存続するものです。	D
3	元気プラザの設置目的、また各法律に於ける設置意義を満たすためには神川と加須元気プラザを廃止するのではなく、どう活かしていくかを検討するべきだと考える。元気プラザの目指すべき方向性について、すでに神川・加須共に到達しているものも多いと、6ページの表からも伺える。なお、6ページ以外の表の数値は主催事業を除いたものであり、現状の把握は主催事業を含めるべきである。「埼玉県立げんきプラザ条例」は集団宿泊・自然体験・生涯学習の業務について主催事業を分けてはいない。加須元気プラザは「埼玉県行財政改革プログラム」の基本方針にある「多様な主体との協働・共創と交流」を創り出している場である。現状を続けていくことでさらに地域に根付き、多様な交流の場となる可能性が大いに期待できる。1例として、テニスコートは加須と神川にしかない、長年利用して健康を保っていた方も多く、利用できなくなると地域の医療費の増加、引きこもりの高齢者を作ることもなりかねない。財政のための閉鎖が財政を更に悪化させることも考えられる。70代以上が人口の3割の日本で、集団宿泊、自然体験などの青少年との交流で活躍できるシニアの育成、青年の高齢者に向けた働きかけの場として元気プラザが各地域に必要である。北東部からなくなり県内偏った配置になることでのメリットはない。市町村では困難な「県の役割」の継続を希望する。現状は「県しかできない」から「県ではできない」となっている。どうか手放すのではなく今あるものを活かして「県だからできる」への変革を要望する。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。 県の役割を十分に果たすため施設の目的を宿泊自然体験に重点化することとし、秩父地域や西部地域の施設を存続するものです。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
4	加須げんきプラザ及び神川げんきプラザの廃止には反対致します。 ○理由 イ) いずれの施設も日帰りの利用が多く宿泊利用が少ないことが、施設運用に適していないように検討されている。 (宿泊型の利用は、青少年が宿泊研修を通じての相互理解や、体験活動を重要視しているが、日帰り型も再考の余地がある。) ロ) 加須げんきプラザは、都市に近く交通の便が良い、過日中国からの子供たちがバスで研修に来ていたが、良いことだと思った。研修の内容は聞かなかったが、今後は田舎町ではあるがグローバル化が進み、各国の青少年が来日し県民の青少年と研修できることを望みます。子供たちに外国の子供たちと、異文化交流の機会を多く与える機会を与えたい。 ハ) 日帰り型は生涯学習（知識、文化、教養など）とスポーツ（スキル、健康）などの習得に成果を上げていると思う。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
5	今後のげんきプラザの活用の在り方について 宿泊型の施設利用をアップするためには、各施設の特徴を生かした利用プログラムを県の教育局でコーディネートして広く各教育機関に提案していく。 宿泊型の利用は青少年の健全育成には、今後大いに活用されていくべきと思います。 その為には、企画運営をされる主催者の負担を軽減する配慮があるといいのでは？ E x 1：宿泊施設側に運営を任せてみる。（施設側と依頼する側の相互に研修の狙いや目標を十分にすり合わせる） 施設側の企画運営者は、それなりの人材を育成して、派遣をしても良い 外国の青少年との交流は今後、大いに展開してほしい。現在、中学生、高校生でのホームステイを募集しているのを見かけるが、個人の受け入れは希望したい反面、難しいのが現状ではないか？この辺を県の教育機関がプロモートして若き青少年の芽を育ててほしい。	・教育局において必要な施策を調査・研究し、各施設と連携して取り組むことも必要と考えています。宿泊型施設利用者を増やす提案なども行ってまいります。	C
6	神川、加須が令和7年度末で廃止することに反対です。 理由が、自然を活かした体験活動に乏しいということですが、P21（2）げんきプラザ別優先度毎の利用状況によれば令和5年度に加須29,495人、神川29,729人と他3カ所に比べて多くの利用者がいます。 有識者会議で示された今後の方向性の考え方にて、方向性2、方向性3を十分に担えるからこそ、利用されていると考えます。 埼玉県行財政改革プログラムでの公の施設のあり方の検討、「最小限の施設数で必要と考える機能を担う検討を行うこと」が、県民の利益を減らしており、この考え方が間違っています。 財源が不足しているのであれば、埼玉県は国に国庫支出金や地方交付税交付金を増額するよう努力すべきです。加えて主管である、県教育局は、げんきプラザの再編を直ちに廃止し、現存6施設の充実を実行し、利用者の利益向上をはかるべきです。 実際に利用した経験が豊富でない有識者会議の声を重視するのではなく、施設を利用している県民の声をアンケート等で確認し、検討期間を十分に取った上で、運営方針を慎重に決定すべきです。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
7	自然を生かした体験活動に乏しいので廃止とのことですが、利用者の減少については他のげんきプラザと比較しても顕著ではありません。したがって、施設としての需要はあると考えられます。廃止するのではなく、設備を縮小してスポーツ施設として運営するのはいかがでしょうか。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
8	直接は現在、県のげんきプラザの利用をしているわけではないのですが、家族の関係で加須のげんきプラザを日々身近に感じていて、このような施設が目的をもって、青少年を育てる環境、そして高齢者の身近な学びの場として機能していることに、私もこの先、利用するであろう施設として認識しておりましたし、また、令和元年には大規模改修もあり、継続は前提としてこれからの可能性も感じておりました。「げんきプラザ」というネーミング含め、市民のまさに元気！を維持していくためには、必要な施設だと感じています。 県の意向で廃止方向ということですが、「自然教育の場」としては、他の地区の「げんきプラザ」も重要ですしそれを強化いただくことも賛成です。 しかし、加須の「げんきプラザ」は生活圏の中であって、市民が元気になるような別の目的として意義あるものと理解しているため、どこをつぶすとかではない、これまでの活用の延長線上としてなくてはならない施設になっていることを、ご理解ください。 県の運営から、市に託すことも、継続のためのひとつの方法かもしれませんが、このように今後も使える立派な施設が、「自然教育目的」以外の活用の場としても運営し続けることに価値があり、切り捨て的なもったいない今回の施策は一般の生活者から見て、受け入れがたい内容だと思いましたので、反対意見の送信とさせていただきます。 今回の再編整備があまりに「体験活動」に重きを置いているように感じましたので、違う側面があることについては今一度理解いただき、今後の継続運用をお願いいたします。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
9	こちらにお世話になり5．6年位になります 途中、間が空くこともありましたが、この施設でいつも通りの講座が開かれているのは心強いものがありました 突然、講師の方から来年でなくなるというのを聞き驚きました 当たり前のようにあったこの施設 駐車場完備、駅から徒歩圏内、格安で質の高い親切なパソコン講座があり、シニア世代の私にとっては、生涯学習の場としてかけがえのない場所になっております 今までどおりの存続がもちろん希望です また、来年閉鎖は早急過ぎます 閉鎖までの期間の確保、代替え施設など利用者への十分な配慮がなされることをお願いします	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
10	結構利用しますので、どうか廃止しないようにお願いします。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
11	まず、神川と加須の廃止を前提にしているのに、意見を聞くというのが理解できません。 3月上旬に両げんきプラザで説明会を開くと通知しているではありませんか。 私の考えとしては、長瀬と加須を残して、他は廃止するというのがベストと考えます。 ホームページにある資料で疑問に思うことがたくさんあります。 ①プラザごとの収支決済の金額が記載されていません。運営上利益を出すことは大切です。 ②宿泊利用を強調していますが、県内の国立・県公立・私立のすべての学校数に対する利用率がありません。なぜか、特別支援学校の記載があります。また、他の都道府県の利用率もありません。 また、各プラザを利用する学校の市町村名(他の都道府県市町村名)がありません。 ③林間学校等の利用を強調していますが、現状は、大変疑問です。学校教育において、林間学校を設定する考えは、増えていますか。中学校は、30年以上前から林間学校をスキー教室に変えるところが多くなりました。林間学校に戻しているのでしょうか。林間学校は天候に左右されます。また、近年、山里に熊・イノシシ・鹿が出没しています。マムシなどの蛇もいます。安全性が確保されますか。 ④交通について、ガソリンの高騰が続いています。バスを使うことが良いのでしょうか。昨今、学校では自主性を求めて、班で交通機関を利用して活動させることが増えているのではないのでしょうか。駅があるというのは重要ではありませんか。 ⑤不登校対応というのであれば神川も加須も廃止するのはおかしいのではないのでしょうか。 ⑥直営施設と指定管理施設の良さと問題点の記載がありません。全て指定管理施設にすべきではないのでしょうか。 ⑦施設の周りの環境が体験活動の様々なニーズに答えられるものになっているのでしょうか。 ⑧げんきプラザで働く人の中に、今でも教員が研修と称して働いているのであれば、困っている教育現場に戻すべきではないのでしょうか。 まだまだありますが、再考していただきたいと思います。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映 状況
12	「げんきプラザ加須」で実施された「県立げんきプラザ再編計画(案)」についての説明会に、第1部、第3部に参加させていただきました。そして、話の趣旨を要約すると、有識者会議から「集団宿泊活動・自然体験活動」の重点化をするようにという意見をもとに、宿泊数の少ない加須・神川を廃止するということでした。げんきプラザの運営に関わる財政の問題については、話がありませんでした。Ⅲげんきプラザの再編1目指すべき方向性(3)埼玉県行財政改革プログラムについての説明はありませんでした。説明では設置目的を強調していましたが、各プラザの財政的な運営状況を出す必要があります。話はありませんでした。P21の一覧表について、各げんきプラザの利用回数の中で、県外が10%と聞きましたが、埼玉県内のどの市町村の学校が利用しているのか、知りたいです。また、埼玉県内の小中学校が自然体験学習と称して県外にまで行くのか調査した方が良いと思います。子供たちの安全を考えた場合、山の中の施設は、危険が増えています。台風・大雨の自然災害や熊・イノシシ・鹿・マムシの危険性が出ています。身の安全をどう守るのか考える必要があると思います。宿泊体験は、家族向けにも積極的に働きかける必要があります。げんきプラザ加須は、周辺環境が素晴らしいです。近くに県立の加須水上公園があります。自然体験は充分できます。県立の多目的グラウンドがあります。主にサッカー場として使用されています。また、平成国際大学、サトエ美術館、花咲徳栄高校、農業体験ができる誠農社、むさしの村があります。現在注目されている下水に関する加須市下水処理場、川に関して、青毛堀用悪水路土地改良区行田事務所等があります。また、花咲徳栄高校と加須未来館には、プラネタリウムがあります。また、県が学習環境に並々ならぬ資金を費やした埼玉県立不動岡高校にはコンピュータ制御の天体望遠鏡を備えた天文台があります。コラボレーションすれば様々な自然体験活動や生活体験活動・宿泊活動ができます。情報発信の件では、ラジオ局「FMわたらせ」があります。交通の便は、一番良いです。資料には、花崎駅から徒歩6分とあります。高速道路のICでは、東北道加須ICから9分、東北道・県央道久喜ICから18分、東北道羽生ICから15分と近距離です。しっかり情報発信をして、企画力を発揮すれば、利用者数は激増するはずです。ホームページはもっと見やすくする必要があります。職員も、しっかり対応できる人材を配置すべきです。教員が研修で来ていれば、教員不足に悩む学校に返してください。げんきプラザ加須は残していただきたいと思います。山間部ではげんきプラザ長瀬だけで十分だと考えます。最後に、げんきプラザ加須の廃止を考えた背景に、民間に購入してもらうのに、最適な施設だということを考えているのであればやめてください。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
13	今回、「宿泊施設の利用を増やす」という観点から、「加須げんきプラザ」の更なる発展に繋がると思われる内容を記させていただきます。前回も書かせていただきましたが、げんきプラザを取り巻く環境は、様々なニーズを考えた時、一番良い場所だと考えます。様々な企画を考案すれば発展していくと考えます。まず、自然との関りがあり、体験できる施設ですが、近くに県立の「加須水上公園」があります。特筆されるのは、ミシシッピアカミミガメとアメリカザリガニがたくさんいて、外来種の問題を考える学習には適切だと考えます。また、公園の西側に大きな遊水地と遊水地を兼ねた多目的運動公園があり、グラウンドはサッカー場となっています。植物や水鳥がたくさん見られます。鷹や雉、サギなども見られます。台風や大雨の時には、全てが遊水地に変貌します。花崎駅近くに、「青毛堀用悪水路土地改良区事務所」があり、詳細を教えてください。川との関係でいえば、プラザから車で40分の、利根川付近(久喜市北)に「国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所」があり、「渡良瀬遊水地」(車で40分)の普段は入れない場所に入り、係員が説明をしてくれます。水鳥ではトキやコウノトリが見られます。また、学習のための出前講座も行っています。また、毎年3月初めには、遊水地の「ヨシ焼き」を行っています。次に体験活動では、プラザから車で8分のところに「誠農社」があり、田植えや収穫の農業体験ができます。キャンプ場もあります。ドローン体験もできます。また、プラザから車で25分のところ(加須市志多見)に「緑の中のファミリーランド むさしの村」という遊園地がありますが、「イチゴ狩り」を含む収穫体験や「いちご大福作り」を含む食べ物づくりの体験ができます。送迎バスが「加須駅」から出ていますが、依頼すればプラザまできてくれる可能性があります。体験活動の一つとして、加須市ふるさと納税の返礼として使われている「SOLABASE」(加須市小野袋、プラザから車で40分)が行っている「熱気球フライト体験」も可能だと考えます。様々なニーズに答えられると思います。林間学校的な発想はなくてもよいのではないのでしょうか。 明治・大正時代に始まった考え方は変わっていないのではないのでしょうか。宿泊利用の回転率を上げるのであれば、上記の体験による宿泊だけでなく、現在も行われているスポーツクラブの合宿に利用していくのはとても大切だと考えます。学校の部活動が地域に移行することになっています。学校ではできなかった合宿が今後増加していくと考えられます。プラザの宿泊施設は重要になっていきます。また、加須げんきプラザは交通の利便性が大変良いため、東京や横浜の高校を始め、部活動の合宿に使われています。平成国際大学の子女子硬式野球部や花咲徳栄高校の男子硬式野球部が全国優勝しており、県外から練習試合にくる学校が宿泊施設として利用しています。加須市はスポーツ都市宣言を行っており、今年も3月17日から加須市で高校女子硬式野球の全国選抜大会が実施されます。55校が参加します。また、スポーツクライミング大会やこいのぼりマラソンが実施されています。当然、加須げんきプラザは宿泊施設として利用されています。加須市がどのように考えているのかわかりませんが、加須市にとっては必要だと考えます。食事に関しては、食堂が閉鎖されていますが、市内の食事処への注文で十分だと思いますし、近くには、スーパー・コンビニがたくさんあります。また、加須市が提携したスーパーが展開している移動販売車、例えばベルクの「とくし丸」などが、依頼すれば来てくれると思います。宿泊に関しては、伊奈町にある「県民活動総合センター」と情報の共有ができるのではないのでしょうか。また、加須げんきプラザの場合は、ホームページの見た目の良さが感じられないなど情報発信が不十分だと感じています。将来を展望したプランが立てられる・積極的に動ける人材が必要と考えます。教員の研修所として利用することはやめていただきたいです。情報発信の重要なアイテムとして、2年前に開局したラジオ局「FMわたらせ」(道の駅かぞわたらせ)(加須市小野袋、プラザから車で40分)を利用するのが大変良いと考えます。とても地元密着型のラジオ局です。県内ばかりでなく、全国的に知られています。大利根地区や北川辺地区の児童生徒が参加しています。「加須げんきプラザ」を存続させ、新しいげんきプラザのあり方を構築していったほしいと考えます。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
14	加須は大規模改修をしたばかり 県東部に1ヶ所しかない 駅から近い テニスコートを利用している 廃止されては困ります	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
15	普段からスポーツする為に元気プラザを使用している加須市在住の者です。 再編整備計画案が通れば、元気プラザがなくなると聞きました。 とても驚いています。使用する人もいます、無くなってしまうのは残念です。出来ればこのまま存続をお願いします。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
16	20年前初めてパソコン教室に参加しました そして20年後の今再びパソコン教室に参加をし始めました そんな矢先に廃所の話を聞きました これはひどい！利用者がこの場所をどれほど必要としているか、子供から大人それに高齢者の学ぶ気持ち、人との繋がりを生き甲斐を持って利用しているか良く考えて頂きたい 生涯学習の場所として残して下さい！！	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
17	加須市に在住している者です。 加須げんきプラザの廃所には反対です。 以前から体育館や展示などで利用していましたが、今期初めて生涯学習を受講しました。皆さんとても意欲的で私も勉強になっています。内容もとても役立つものです。 デジタル化に順応できないお年寄りもたくさんいるのを見ても、今後も利用者は絶えないと容易に予測できます。 利用者に学習や運動の場がないのはとても残念です。 再度ご検討をよろしくお願いします。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
18	加須げんきプラザでの説明会に出席させて頂きました。 6つのげんきプラザを一括りに、「加須が宿泊が少ないから」と説明されても、大滝や名栗と異なる地の利、利用から考え納得出来るものではありませんでした。説明者は県の考え方、これからの進め方を繰り返すだけで、質疑応答とは名ばかり。こちらは大勢の前で、恥ずかしいのをこらえて腹を割って発言しているのに県は方針を答えるだけで、寄り添いもしない。 いくら（案）だと言われてもこれでは、廃所ありきと受け取れる。 6つの特性を加味して検討して頂き、細やかな説明をして頂けることを願いたい。 願わくば、加須は都市型宿泊無しの生涯学習に特化した県の施設として残ってくれることを期待します。 埼玉県が、子どもだけでなく、大人にも寄り添ってくれる県だと思わせてくれることを期待しています。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
19	この施設で、さまざまなことを学んできました。今も学んでいます。 子供も私たちも、ここが生涯教育の場でした。 子供たちが成人した後も、私と妻は、ここでパソコンを学び、スマホの使い方を習得しました。【加須げんきプラザ利用団体】がなかったら、諦めたかもしれません。高齢化社会は身近な学びの場がこれまでに以上に必要と思います。廃止は絶対にしないでください、廃止は、社会の変化に逆行します。施設の維持に税金が使われるので、コストカットを行政が考えるのは理解できない訳ではありません。しかし、一度閉鎖すると後戻り場出来ず、失うものが多すぎると思います。 運営を改善して、是非是非継続してください。宜しくお願いします。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
20	私も、講座を随分と利用、学ばせて頂きました。地域に根差した、利用し易いプラザですので、存続を強く希望致します。最近、体調不良があった為休んでいましたが、又参加を考えていたところでした。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
21	今年から初めてパソコン教室に通っています。 毎週楽しみにしています。習った事を復習した少しでも予習して充実した毎日です。 今の度げんきプラザが再編される旨を聞きもしたらここが無くなってしまうかも知れないとの事で大変驚き、来期も申し込みましたが出来るなら続けて通いたいと思っていました。60代も半ばを過ぎ、何かやらずくてはと思い始めた物です。私達シニアが通える場所は限られています。あまり遠くまでは通えないし、お金もそう沢山かけられません。 どうか私達の学ぶ場所を取り上げないで下さい。シニア人口がどんどん増える中で学ぶという事は自身を守る事、ひいてはボケ老人を減らす事に繋がります。若い世代に私達を背負わせる事を少しでも減らす為にげんきプラザを無くさないで下さい。げんきプラザを無くさないで！！	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
22	私は障害を持っています。 経済的に苦しいところがありますが自分の能力を向上させたく【加須げんきプラザ利用団体】で勉強しております。これからも私と同様な障害を持ちながら勉強を目指す方達は沢山いると思います。社会的弱者が低料金で勉強できる場はこれからも必要です。加須げんきを廃止にしないでください。よろしくお願いします。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
23	ぜひとも今まで通り続けてもらいたいと思います。 なぜならば、いい年をした大人が、そろって学ぶ場所などはめったにありません。 存続を切にお願いします。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
24	【加須げんきプラザ利用団体】の講座を中心に10年以上利用させていただいております。 受講の目的はもちろん、そこでの人とのコミュニケーションは生活の一部となっております。 加須げんきプラザの継続心より希望します。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
25	老いも若きも、インターネットは、私たちの生活に欠かせないものになっています。パソコンを活用することで自分の知らない情報を簡単に調べられること。 パソコンが使えなかった私、パソコン教室に通うようになって、パソコンが使えるようになりました。なので、どうか元気プラザ施設を、なくさないでください。再検討を希望します。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
26	県立げんきプラザの存在を【加須げんきプラザ利用団体】の講座を受けるまで、このような施設があることを知りませんでした。施設の利用や催物など近隣の市町村に周知し駅や図書館（公共施設）にポスターを貼ったりし、PRをし、多くの人の目にとまることで利用者をもっと増して欲しい。そして県立げんきプラザがこれからも存続して、いつまでも学びの場、コミュニティーの場などが続けられますように願います	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
27	生涯学習振興のネットワークの拠点となる社会教育施設として是非残してほしいです	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
28	市民講座参加で利用させてもらってます。 高齢の私にとっては遠方まで出向いて参加することはとても難しく継続できません。 健康寿命伸ばすには頭を狭いながら同時に指先も使うパソコン入力作業は最適です。ここに通う様になってから活力が芽生えて来ました。県立げんきプラザの存続を希望します。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
29	元気プラザで行われているパソコン教室を利用させてもらった者ですが、公共の場なのでいろいろな人の出会いがあった事がとても良かったと思います。現在主人も利用させて頂き生き甲斐を見つけております。高齢化社会になっている中でこういう施設がある事はとても大切な事ですので存続させて頂きたくお願い致します。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
30	高校時代、げんきプラザのテニスコートを借りて楽しくテニスをしたことを記憶しています。両親は、パソコン教室にお世話になっています。自宅では、なかなか教えきれない部分も、教室で習得しており、父が新しい趣味を楽しんでいる様子が、娘として、とても嬉しいです。ぜひ、存続をお願いします。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
31	元気プラザ廃止に反対します。これからIT社会が当たり前になる中、高齢者が取り残されない様に、安価で勉強できる場所が必要だと思います。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
32	長年のパソコンへの劣等感から第7 4期パソコン講座に通っております。講師の先生の熱意と資料が充実しております。是非、老人の生きがい、ボケ防止等のため今後も利用できるようにお願いします。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
33	県立げんきプラザ再編整備計画の話をお聞きしてもものすごく残念に思います。私は、若い頃、給水装置工事主任技術者の免許を取って、パソコンで図面を書いていました。でもパソコンの仕事から離れると忘れてしまいます。プラザにきたら私達の学校です。先生達もすごくよく教えて下さいます。仲間達も私よりは、みな若い人達です。教室も素敵ですし、先生達からも離れたくないです。仲間達も私と同じ気持ちです。よろしくお願い致します。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
34	加須は体育館などを活用したスポーツ活動が中心で、自然を生かした体験活動に乏しいとあるが、加須は都市型の施設で人々が集う社会教育施設である。青少年のためだけではない。県民の生涯学習活動の振興に資するための社会教育施設となっている。唯一都市型の元気プラザ加須は廃止ではなく、社会教育施設の新しい形の見本になるよう考え直しをお願いする。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
35	県立げんきプラザは花崎駅より徒歩圏内で立地に恵まれており、老若男女にとって利用しやすいです。なにより生涯学習を目指す埼玉県としても格安で勉強スポーツ趣味などの意欲を満たす場として必要不可欠と思う。建物も修繕して、災害時の拠点などにも親しまれている。安心感など大切な心のケアにも有意義と考えられます。整備計画には時期尚早と思われます。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
36	パソコン講座を受講しています。施設がきれいで、とても落ち着いて学べる環境です。講師の方々も親切、ていねいに指導して下さり楽しくパソコンを学んでいます。シニアの方々も真剣に取り組んでいます。こんな素晴らしい環境と取り組みをなくしてしまうのはもったいないです。どうか、シニアの学びの場をなくさないで下さい！！よろしくお願いします。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
37	げんきプラザをいつもどおり、続けていただきたいのです。それは近いからなのです。パソコンを習っているのですが、遠いといくのが嫌になってしまいますから・・・	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
38	現在「加須げんきプラザ」研修室を利用したパソコン講座を受講しています。ついに後期高齢者入りとなり改めて健康と生きがいに思いをいたし適度な緊張と生きがいのため上記パソコン講座受講を始めました。住まいからも近隣の場所にあり老体にも負担が少なく快適な通学距離となっています。詳細な教材により初心者にも解りやすくボケのきている頭でも十分に理解できるような講座となっています。多くの他の受講生と交流ができ刺激を受けながら大変楽しい時間となっています。是非今後とも「加須げんきプラザ」を継続し利用が可能となることを希望します。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
39	県政サポートアンケートの結果での過去５年間でげんきプラザを利用した人の割合は低いですが、それらを踏まえ元気プラザを「集団宿泊活動」「自然体験活動」に重点化し、加須げんきプラザを廃止することは納得できない。加須げんきプラザが過去から現在までの実施してきた事業ノウハウを今後どう活用するかを県において再考していただきたい。高齢化社会における「げんきプラザ」の生涯学習の場としての利用促進も進めていただきたい。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
40	２００３年（平成１５年）に青少年の健全育成、県民の生涯学習などを目的に建てられた。立地・環境・ロケーションなどこの上ない位素晴らしい建物。また令和元年に大型リニューアル工事を施したにもかかわらず、閉鎖する予定と聞く。全くもって愚かな話です。熟考を願いたい。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
41	私は、埼玉県民の一人として、現在進められている「県立げんきプラザ再編整備計画（案）」に対し、意見を提出させていただきます。 加須げんきプラザを含む県立げんきプラザが、県民の生涯学習の拠点として長年にわたり提供されてきたことに深く感謝しております。幅広い年齢層が利用できる場として、地域社会において重要な役割を果たしていると感じています。とくに、加須げんきプラザは施設が駅から近い都市型施設である為、私のような高齢者でも利用しやすい施設です。また施設は、高齢者の認知症予防や健康維持に大いに役立っています。私は、施設で開催されている【加須げんきプラザ利用団体】のパソコン教室に長年通うことが出来ているため、仕事に活かせるパソコン入力を含むITに関する実技と知識を学ぶことが出来ました。そればかりか、教室の講師の方々はパソコンに関する時事問題（コロナ予防接種の予約方法、詐欺迷惑メール対応等）も取り上げてくれる為、新しい知識を得て社会と繋がっていると感じられています。また、同じ趣味をもつ仲間との大切な交流の場でもあるため、家から出る動機にもなっています。以上のことから、施設は私を含む高齢者が学び交流を育む生涯学習の場と必要不可欠な施設であると考えます。どうか加須げんきプラザの継続をお願い致します。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
42	げんきプラザで講座を受講しています。毎週勉強できるこの日を楽しみにしています。通うのにもちょうど良い場所にあります。元気プラザをなくさないでください。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
43	先生に教わりながら楽しくパソコンを習っています。このような場所をつぶさないで下さい。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
44	げんきプラザでパソコン教室に参加するのが、退職後の喜びであり、生活の張り合いになっています。げんきプラザがなくなってしまうと聞き、非常に戸惑っています。どうか、げんきプラザを存続していただけるようお願いいたします。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
45	私は、１５年以上加須げんきプラザへパソコン講座受講で通っていますが、廻の自然環境も良く駅にも近いので絶対になくさないで下さい。お願いします。このような施設は他にありません。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
46	先日、げんきプラザの廃所の計画案が示された事を聞いてびっくりしております。 げんきプラザでは３年程前からパソコン講座で週１回良い先生方に巡り合い勉強をしています。毎回新しい事を学びとても充実した時間です。このような素晴らしい施設が廃所になってしまうなんてとても寂しく残念でなりません。どうか廃所にならないようお願いいたします。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
47	県立げんきプラザ 県民の生涯学習活動の振興に資するための社会教育施設 加須げんきプラザ 駅からも近い 駐車場もあり大変利用しやすい施設です。 3年前にリニューアル バリアフリー 使いやすいきれいな施設（建物） 退職を機に生涯学習をしたい私たち高齢者にとって大変利用しやすい場所 高齢になると宿泊をしてまで学ぶことは出来ませんが毎日通うことはできます。 是非加須げんきプラザはなくさないで！ いただきたいと思います。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
48	毎年週1回位利用しています。 加須市内では私が受けているような講座は単発が多く、長く受け続けられるものが少ないので大変楽しみに続けています。 県東北部はこのような施設が少なく、市町村をまたいで受講生を集められるので続けられるのかとも思います。廃止には反対です。 宿泊利用（よりも）と、市町村で長く続けられない講座などを拡充するべきなのではないでしょうか	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
49	加須元気プラザは県東部地区で安心して利用できる社会教育施設です。 私はパソコン講座でたくさんの学びを得ています。 大事な拠り所としての加須元気プラザを是非引き続き利用できるよう存続して下さい。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
50	「体験学習」「宿泊学習」が少ないとのことですが、この2つのことで多く利用されている他のげんきプラザの活動を参考にしたり、市民からのアイデアを募ったりしてみたいかがでしょうか。 大分以前にはなりますが、近所のウォーキングの仲間と宿泊させていただいたことがありました。1日目は北限と言われていた寄居町にみかん狩りに行き、次の日はそば打ち体験をさせていただきました。 参加者も結構多かったように思います。今でも時に思い出す楽しい記憶です。私はもう10年以上もパソコン講座で利用させていただいておりますが、入り口でさいたま市に住む姪とばったり会ったことがありました。その時随分遠くの人も利用していることを知りました。 宿泊出来るという事は災害時の避難所としても最適と思います。 駅にも近くて緑にも囲まれ2つの学校の間にある改装してまだ間もないこの加須げんきプラザをさらに元気にして欲しいと心から願います。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
51	私は定年後、健康に留意し、習い事を計画。 条件として、「交通の便・住環境」の良さを考え、探したところ、御施設で開催中の【加須げんきプラザ利用団体】が実施するパソコン講座を見つけすぐに申し込みました。 幸い徒歩でも15分くらい、免許を返納しても通えます。そして同じ趣味を持つ仲間もでき、楽しく通わせていただいております。 今後は、身体を使った習い事にも挑戦したいと思っています。 高齢者向け室内練習⇒筋トレ・ヨガ等の導入をご検討願います。 地の利を生かした「加須げんきプラザ」の利用者数は県下一と伺っております。今後とも、青少年の健全な育成とともに、高齢者にもご配慮を賜りまして、どうか存続の方向で、よろしくお願い申し上げます。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
52	加須げんきプラザにて【加須げんきプラザ利用団体】の講座でパソコン・スマホの講座を受講している70代女性です。【加須げんきプラザ利用団体】の講座は十数年前から時々利用させて頂いております。 高齢になるといつも顔馴染みの講師の方々に教えて頂けるのでとても心強いです。 これからも時々加須げんきプラザを利用させて頂きたいと思います。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
53	所属団体で役員を任せられパソコンが必須となり、2012年から【加須げんきプラザ利用団体】の講座を受講しています。市のボランティア活動にも活用し、教室の仲間とも知り合いになり、高齢者とても元気でいられる秘訣だと思っています。加須げんきプラザ廃止について疑問点を書いてみました。 - 利用者数が多いのに何故廃止するのか。 3～4年前にトイレリフォームしたばかり（税金の無駄遣い） - 廃止後の計画がわからない - 体育館・グラウンド・会議室もあり花崎駅にちかい - 子供達もドラム缶でピザ作り等で利用している - 利用者の駐車場も完備されている - 市の施設を利用するには、毎月申込みし、抽選で当選しないと利用できない状態です。パソコン教室の利用回数と人数では、他の施設では困難である。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
54	県立げんきプラザを知ったのは、昨年パソコン教室に通う様になってからですが、ここには体育館もあり色々な施設もありすぐ側に学校もあり多くの人が利用しやすい私達のように色々な教室に通って来る人も多くいるのでこのまま残していただければ良いのですが	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
55	加須げんきプラザの存続を希望します。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
56	断固反対！！	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
57	この度の元氣プラザ廃止の件、私は反対！です。 今、ペーパーレス時代、飲食店も何もかもがタブレットの時代で使いこなせないと生きていけません。高齢者の学びの場所を取り上げないで下さい。 とても役に立っています。 どうぞ どうぞよろしくお願い致します。生きていけません。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映 状況
58	・げんきプラザ再編で、宿泊や体験学習が少ないのはわかるが、利用者が多い施設を閉館するのは納得がいかない。生涯学習の拠点として毎日利用者がいて活気がある。机上で判断するのはやめてほしい。 ・県の施設だからこそできる事業、やっている事業はたくさんある。公民館事業と名前は同じかもしれないが、内容は全く違う。見学もしないで判断するのはやめてほしい ・障害者や支援学級の生徒が来て、宿泊もしている。加須という中途半端な位置だからこそ来れると思う。長瀬や秩父までは遠すぎていけないと思う ・リフォームを令和元年に行ったのは、今後も利用してもらうために行ったのではないのか。税金で行ったことを無駄にするのか ・閉館の後のことが決まっていないのは、市民に大きな不安と憤りを与える。げんきプラザの隣には高校と中学校がある。閉館後、広大な敷地は廃墟になり恐ろしい。閉館をするなら、その後の方針が決まっからにしてほしい。不信感しかわかない ・閉館すると告知してから、事が運ぶのが非常に早い。反対意見が集まらないうちに、みんなに知られる前にとっとと事を運んでいるようにしか思えない。 説明会で感じたことは、最初から閉所ありきで説明をしているんだなと感じた。計画案の資料も、各施設から上がっている数字を精査もせず載せている。同じような内容を繰り返し話し、答えになっていないし、市民に向き合った説明会とは思えなかった。より不信感が生まれた。一方的に事を進めることで、どれだけの人が困るのかを分かってほしい。私は、げんきプラザとともにパソコン教室を23年間行ってきた。個人授業を行うパソコン教室が多い中、敢えて集団講座を続けた。仲間を作り生涯学習として続けてほしいと思った。「ここにすれば、いつも先生がいてくれる」「ここに来れば楽しいことがある」とそう思ってほしくて続けた。それが社会教育だと思っていた。今回の廃所の話で自分のやってきたことを振り返り、それが間違えではなかったと思った。底辺で行うこのような活動が地域を支えていると思う。それができるのが加須げんきプラザだと思う。そう思ったから続けてこれた。もっとしっかりと加須げんきプラザのことを見てほしい。潰すのではなく、これから生かす方法を一緒に探してほしい。県の教育委員会という場所で働いているのだから。もっと理想や希望をもってほしいと思った	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
59	長きにわたり【加須げんきプラザ利用団体】としてパソコン講習会を行ってきました。 初めはITの周知、パソコン講習、近年は、パソコン・スマホ講習とシニア世代のコミュニティの場としての役割も担っていると自負しております。 生徒さんの中には10年、20年年以上にわたって続けておられる方がたくさんいます。 【加須げんきプラザ利用団体】としては年間延べ利用人数700人トータルで16,000人が利用しております。 また、中学生のバトミントン大会、小学生のミニバスの試合など毎年行われています。 「県民の生涯学習活動の振興に資するための社会教育施設」としての条件は満たしていると思います。 時代は20年前より大きく変化しました。 増えていく一方の高齢者、それと反比例する出生率、地球温暖化、続く円安、SNS駅から近く、唯一の都市型施設 多彩な研修室や体育館、運動広場など人々が集う社会教育施設の加須げんきプラザはシニアの為の生涯学習の場として機能しております。 それを廃所にするなんて時代に逆行する決定であるとは思えません。 廃所にするデメリットが大きすぎます。続けていく努力をしてください。 また、今回の件案が私たちに知らされて、1ヶ月で意見募集の締切とはいかがなものでしょうか。廃所ありきのとってつけたような意見募集についても、県の不誠実さを感じてなりません。 仮に廃所にするなら、今現在の利用者さんの行き先を提示していただきたいと思います。それが決まるまで、廃所は白紙、または延期、次なる施設を提示してください。 長くなりましたが、利用者はみんな困っております。今一度、再考をお願いします	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
60	げんきプラザを無くさないで下さい。 設備が整っているので、プラザが無いと困ります。 毎週ありがたく使用させてもらっています。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
61	廃止される施設は地域にとって重要な役割を果たしていると考えます。特に高齢者や子供達の代替え施設までの移動アクセス困難になることが予想されます。 地域の交流の場としても大切な今回の県立げんきプラザ再編整備計画にある加須げんきプラザ廃止(案)に対して反対を致します。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
62	有識者メンバー透明性高く再度選定し直し再編整備計画を構築して欲しい。高い視点でのげんきプラザ設置目的に準じた再編整備計画となっていない。データの捉え方が偏っている、更には明るい創造型の提案になっていない。体験活動の実施割合にスキー教室等も入っているものとする。設置目的と違うと考える。東武伊勢崎線沿線には多くの自然と歴史があり、異文化交流の核となるコアが豊富にあると考える。人生１００年構想、外に発信する力、どの様に見られているか謙虚な姿勢、取り組む課題は大きいと考える。外に発信して行ける先進的な生涯学習の施設を今後は希望したい。自然と足を運べる気軽な施設でありたい、知人に紹介出来る施設でありたい。若人が集い明日を語れる施設でありたい、高齢者に優しい施設でありたい。外国人が訪ねて来る施設でありたい、県外利用者に優しい施設でありたい。少なくとも広く世代別県民ニーズの洗い出し必要と考える。世代別アンケート必要と考える。生涯学習施設、例えば埼玉大学の講座受講など大学の合宿利用が目立つ明治 日大 青学ほか成果を住民にお披露目。そこには施設の設置意義インパクト強く確認が出来ると考える。整備計画には現状設備のソフト実態調査ヒアリングが介在していない。利用者の感想意見が考慮されていない。一方的な思考形態となっている本来はすべき仕事として大きな乖離があるその点には気付いていない。騎西高校サッカーコート活用 水上公園の多目的管理運営 県活管理今後を考える時、そのノウハウは大切な資産と考えている。 しっかりと効率的に汗かくそして責任を伴う行動及び発言を期待したい。	・有識者は、体験活動や生涯学習の専門家等から選定し、様々な視点からの御意見を頂けたと考えております。	E
63	今回の再編整備計画（案）資料内容に片寄りがある。有識者の人選を含めてゼロクリア最適と考えます。生涯学習に重きを置いた施設として広く国内・海外に開かれた施設機能を有して欲しいと考えます。東武伊勢崎線沿線には埼玉都民が多数生活しております。日本を代表する大河である利根川流域・渡良瀬川流域には自然が豊富にあり豊かな埼玉の歴史と伝統、農耕の歴史が有ります。本来、埼玉県が目指す方向との乖離は大きいと感じております。 可能であれば生涯学習施設としてあるべき姿を模索研究される機能を有する施設へと変貌する事、期待を致します。世界からの視点でどうあるべきかを感じて学べる施設であるべきと考えております。長期的視点でどのような姿が理想で隘路の事項を抽出してコンセンサスを見出す必要があると考えます。 埼玉県民が求める機能と人材集うそして集いたいと感じる施設でありたい。 隣接する県、広く国内及び海外から気軽に利用できるアクセスができる施設位置を目指して行きたい。コアとなる事例があります。実態把握及び布石の配置は杜撰であると考えております。視点の高い有識者の人選は必須です。 明日を担う青少年から目標とされる諸対応となっているかの視点大切です。	・有識者は、体験活動や生涯学習の専門家等から選定し、様々な視点からの御意見を頂けたと考えております。	E

番号	御意見の内容	県の考え方	反映 状況
64	私は毎週の加須げんきプラザでテニスのサークル活動を通じて地域交流、スポーツ生涯学習を習得しております。 加須げんきプラザにおいてご説明がありました「県立げんきプラザ再編整備計画（案）」についての意見書を下記のとおり送付させていただきます。 ■「加須げんきプラザ（以降：「加須」とします）」の存続を希望します。 ・「加須」は駅に近く、都市型のスポーツを含む生涯学習拠点として適しています。 ・その立地利便性から、加須市だけでなく久喜市はじめ近隣市町、県内おおくの県民の皆さんが利用しております。 ・もし廃止の場合、「加須」に変わるサークルが利用できるテニスコートは近隣には存在しません。 ・テニスに限らず多くのスポーツに触れることができる貴重な日常の施設です。 ・スポーツ、文化の教育に伴い宿泊もできる貴重な都市型施設です。 ・電車で来場でき、大型バスのチャーターなどは必須ではありません。 ■質問 ・県のげんきプラザは何故、自然体験活動に主たる意義を優先するのでしょうか？ ・青年の家が前身の「加須」は社会教育施設を意義として発足しておりますが、げんきプラザへの再編後、その意義は無くなったのでしょうか？ ・もしそうであれば、そもそもなぜ「加須」を造ったのでしょうか？ ・「加須」の歴史で「培われた大切なもの」と「自然体験活動ありき」の優劣判断できるのでしょうか？ ・存続課題について近隣市町との協業、第三セクター的事業継続など議論は尽くされたのでしょうか？ ・令和元年からの数か月に及ぶ大規模な改修は無意味だったのでしょうか？ 是非、存続のご判断を宜しくお願い申し上げます。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映 状況
65	いつも施設を利用させていただきありがとうございます。 げんきプラザの再編成（案）の趣旨は大体理解いたしましたが、現在、二十数年にわたりシニア世代以上で日帰り利用している私たちとしては、この先どうしていいか「不安」と、「悲しみ」しかありません。これから、高齢者が増えていく状況で「生涯学習」をする施設が身近な場所から消えてしまうのはとても悲しいです。 説明会では「市で出来ることは市に任せて」と言う事でしたが、はたして市で今のような施設が用意できるのか、コミュニティセンターを借りるのにも予約で思うように借りられない状況です。 そんな中、具体的にどうしていくのか示してほしい。できれば、生涯学習を行っていく施設を県の方で提供または紹介してほしい。 また、プラザは地域の避難施設としての役割も果たしていると思います。今後、そういった点をどうしていくのか解答が欲しいです。 さらに今現在、不登校の子供たちが避難所として、げんきプラザを利用している姿を見かけます。その子供たちの逃げ場（避難所）としての役割も考えていただきたい。 コンクリート建物の耐久年数約50～60年と言われておりますが、これは、何も修繕しない状態での年数だと聞いています。 令和元年に大規模修繕したところなので、まだまだ使用できると考えられませんか？ 立派な建物なので、勿体ないと感じます。せめて安全に使えるところまで、廃所は見送ってほしいと考えます。 こうした私たちひとりひとりの意見に対する解答とともに経緯と結果をホームページ上に掲載してください。よろしく願いいたします。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
66	県立げんきプラザ再編整備計画案に反対し、神川げんきプラザ、加須げんきプラザの継続を支持します。 昨今、不登校の人数は過去最高となり、非認知能力の育成や自己肯定感を高めるために効果的だと言われる体験活動ができる施設への期待は高まっています。教育に力を…子供の居場所を守るといながら、こうした貴重な体験ができる施設を縮小するという案は信じられません。また、教育に携わる身であるため、この再編整備計画案が、現場に周知されていないことも許せません。施設利用者や関係する団体、教育委員会や学校等にもしっかりと意見を聞いていただきたいです。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
67	子供の人数が減っているとはいえ、一定の学校数がある中なので、施設規模を縮小することで希望する時期に、予約が殺到することが予想されます。施設を、縮小するのであれば、学校から林間学校などの宿泊行事をなくす必要があるのではないのでしょうか。 これからも未来の子供達のために必要な施設であると確信しております。どうか、貴重な体験を、大切な施設を無くさないでください。	・再編に当たっては、学校利用のピーク時における宿泊利用のニーズを満たす施設規模を想定しており、対応できるものと考えております。学校が希望する時期にできる限り利用できるよう努めてまいります。	C
68	週1回の毛筆、硬筆のお稽古で利用させていただいております。7才～60代の生徒さんが通ってきてくれています。明るく、きれいな施設で、大変良い環境に恵まれ、喜んで使わせていただいております。送迎の保護者の方も、安心して利用させていただいております。書初めや銀河書道作品展の制作においては、広さの面で、特に使いやすく、助かっております。 私は、技術的なことは勿論の事、子供達が、大人達に学び、大人達が子供達から元気を貰う場であってほしいと思っています。このままずっと利用させていただきたいと思います。 夜の説明会では、施設の老朽化という言葉を何度も聞きましたが、令和元年に大規模改修がされており、利用者にとっては、とても綺麗な施設です。部屋もトイレもとても綺麗です。2階利用に当たっては、エレベーターもあり、重い荷物の運搬も楽です。また、足の不自由な高齢者にとっても、有難いです。設置場所としては、花崎駅からも近く、東北自動車道加須ICからも大変近いです。それゆえ、民間に譲渡しやすい条件が揃い、廃止施設の一つに選ばれたのではと考えてしまいました。配布された資料2頁「新しいタイプの青少年教育施設」として、生涯学習活動の振興に資するための社会教育施設にしてほしいと思います。児童、生徒、学生、一般人が体験活動を通して、みんなが「元気になる」「笑顔が増える」「会話が增える」施設になっていると思います。公共交通を利用して、送迎なしで、行事に、宿泊に参加することは、みんな笑顔で向かい、笑顔で帰っています。近くの「加須はなさき水上公園」の方とお話する機会があり、加須げんきプラザの方と「一緒にやっていきましょう」と話し合いを進めている最中に廃止の案が出されたと聞きました。残念でなりません。げんきプラザ有識者会議のメンバーの方は、各地のプラザを何度も見ていただいた上で「再編案」を作成されたのでしょうか。疑問です。社会状況の変化を念頭に置いて、「再編」を再検討していただきたいと思います。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
69	市民が長年使用して来た施設を無くし、困る人もいます その施設にしか通う事の出来ない方などと思います もちろん、老朽化し経費もかかるとは思いますが、もっと節約出来る所はあると思います どうぞ、廃所をしないでください よろしくお願いします	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
70	加須げんきプラザが「廃止」との話を聞きましたが非常に残念な思いです。何とか「廃止」の方向性を撤回していただけないでしょうか。「加須青年の家」から「埼玉県立加須げんきプラザ」へと移りゆく時代とともに社会教育の重要性については、計り知れないものがあります。 6つの「げんきプラザ」から4つの「げんきプラザ」が指定管理になりましたが、なぜ加須と大滝は県直営として残したのか、それは埼玉県の社会教育振興の拠点としての役目と学校教育の連携が重要視されたからです。人口減少・少子化・コロナ禍を通して利用者の減少はうかがえますが、加須げんきプラザの役割は大きいものがあります。例として充実した装備を持つての出前講座（うどん・ピザなど）の実施です。公民館などの施設ではできません。また、宿泊施設として宿泊学習や合宿などで利用しています。低料金であり花崎駅から近く交通手段の利便性もよく小学生から大学生まで幅広く利用しています。自然豊かな遠い山までいかなくても十分な施設（体育館・庭・野外活動場所など）があり教育活動ができます。職員においても都心からアクセスも良く希望される職員も多かったのではないのでしょうか。これからの職員（県職）の研修場としても重要な場所ではないのでしょうか。このようなことから加須げんきプラザの特色を活かして存続を期待するものです。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。 これまで実施されてきた様々な事業のノウハウ等は継続する施設において可能な限り引き継ぐこととし、引き続き充実した体験活動が行えるよう努めてまいります。	D
71	パソコン教室に通って、難しいながら頭の体操、皆さんで本当に楽しくやらして貰っています。 我々シニア族ですが、体に障害をもっているお子さん、自転車が元氣に来る中学生の皆さん 駅から近い立地条件の公共施設はなかなかありません どうか存続をお願いいたします	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
72	私は小学生の子供と共に、工事で閉鎖していた小川以外のすべてのげんきプラザにて、過去５年間に複数の体験学習型のイベントに参加してきました。個人的な感想としては、長瀬げんきプラザがイベント数及び質において、一歩他より抜きん出ているように思います。また神川を含めた他のげんきプラザの体験学習も、安価で良質な体験を提供してくださっており、現在の体験学習の内容を変更していただかなくとも良いと思います。神川げんきプラザについては、特に防災キャンプは準自然体験とはなりますが、体育館でテント泊をし、避難所生活をする事ができ、非常に重要な体験をいたしました。また地の利を活かした三波川の川遊びや夏キャンプでのハイクなど、他の施設で引き継ぐには難しい体験が多いことから、神川げんきプラザの廃止について反対します。もしげんきプラザとして残すのが難しいのであれば、別の目的をも併せ持った施設に変更するのはいかがでしょうか。つまり、青少年の健全な育成のみならず、県民の防災訓練も目的としてはいかがでしょうか。この防災には、いわゆる地震などの天災時のもののほかに、有事の防災訓練なども含めます。参考として、先日TV（２０２５年２月２５日テレビ東京WBSX）で放送していた番組があげられます。台湾では有事への備えとして、黒熊学院というNPOが、（身分を明かさない）プロから「戦争の仕組み」や偽情報などを見極める「情報戦」の授業を行っており、実践的な止血方法や布一枚で被災者を運搬する授業等を行っているそうです（基本授業８時間、約４６００円/人）。これらは、今の日本の置かれた状況からしても必要であり、政府や県でないと準備が難しいものです。また信頼できる公共機関が行うことで、参加を後押しされる方々も多数いらっしゃると思います。講師などを別途呼ぶ必要がありますが、神川での実施は可能であると考えます。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。 - これまで実施されてきた様々な事業のノウハウ等は継続する施設において可能な限り引き継ぐこととし、引き続き充実した体験活動が行えるよう努めてまいります。	D
73	現在主催イベントを探すには、各げんきプラザのウェブサイトを見る必要がありますし、個人利用は５人以上で１ヶ月以上前の予約が必要となり、多くの家庭では利用できません。これらの使い勝手を改善すれば、一般家庭が低コストで自然体験や工作体験、テント泊やBBQを体験しやすくなります。また、げんきプラザそのものの一般の認知度が低過ぎるため、もう少し広告を増やすことが必要だと考えます。ご再考のほど、よろしくお願い申し上げます。	・継続する施設の魅力向上に向け、いただいた御意見を参考とさせていただきます。	C
74	資料７ページ「令和５年度の施設ごとの利用状況」の「学校による林間学校等の利用の状況」を見ると加須げんきの数字が極端に少ないと感じました。加須げんきを宿泊利用された学校がうどん作りやピザ作りを体験してもそれは「林間学校等の体験活動」に該当しないということなのでしょうかと、３月１日の説明会で質問したところ、「該当しない」という回答でした。加須にとって不利になる内容を資料として載せることに疑問を感じます。では「幼稚園・保育園」の１は何をしたのですか。改めて回答をよろしくお願いいたします。	・「幼稚園・保育園」については、レクリエーションでの利用です。	E
75	資料２１ページ右上の表を見ると加須げんきは「宿泊をして体験活動をした優先度①」の利用形態が１年間で５団体しかいなかったこととなります。こんなに少ないはずがありません。正しい数字の公開を求めます。よろしくお願いいたします。	・各施設からの報告に基づく統計結果を基に資料を作成しています。	E
76	生涯学習で習いに来てます。まだわからないことが多くあります。これからいろんなことを覚えてできるようにになりたいと思います。それには元気プラザで同じ先生と慣れた場所でこれからも習って行きたいと思います。なくさずに残してください。お願いします。みんなの願いです。少しでも思いが伝わるといいと思います。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
77	加須のげんきプラザが閉所する動きがあるとの事です、非常に残念です。 私は週に一度、【加須げんきプラザ利用団体】の講座に参加して加須のげんきプラザを利用させていただいています。 加須の立地条件では宿泊施設を利用するより日帰りの利用が多いのは当然の事と思います。 埼玉県財政が苦しいのもお察しします。八潮市道路陥没の復旧工事等お金を工面（捻出）しなければならぬのも承知しています。 しかしながら、県民の学びの場を奪わないでください。加須に廃墟があるのは哀しすぎます。加須げんきプラザを失くさないで下さい。お願いします。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
78	来るのに電車で1時間かかりますが、自分の健康のため出かけないと曜日も分からなくなり、頭も使えずし、人と話もしずし、ポケ防止にもなります。	・御意見として承りました。	E
79	元気プラザのパソコン教室を受講させてもらい、4年目になりました。車で20分あまりでとても通いやすいので長く続けました。友人も出来て、今は週1回のお教室が楽しみの一つです。どうか、取り壊しをしないで下さい！	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
80	【加須げんきプラザ利用団体】でパソコンの講座を申し込んで初めて加須げんきプラザの存在を知りました。普段の生活では来ることもなかったと思う施設ですが、かれこれ18年は利用しているみたいです。講座の冒頭、先生より加須げんきプラザの存続危機のお話を伺いました。自分も高齢になりいつまでも講座を受講できるのかなどの不安はありましたが、まさか教室が使用できなくなるかもしれないという心配事があるとは予測不可能でした。 週に1度の講座ですが、覚えが悪いながらも2時間をあつという間に過ごしています。 加須げんきプラザの存続を希望します。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
81	デジタル化が進んでいる中なかなかついていけない者にとってこの県立加須げんきプラザ内の【加須げんきプラザ利用団体】の講習はとても役に立っています。満員になり、座席を探すほどのクラスもあります。この【加須げんきプラザ利用団体】のクラスがなくなると、対応できない者、特に高齢者はこの世の中で生活できなくなるのではと危惧します。 日本でのデジタル化の浸透は世界の中でも下位の方だと聞いております。 県立加須げんきプラザ内の【加須げんきプラザ利用団体】の役割を果たしていると思います。 今後も続けられることを望みます。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
82	現在、パソコンをこの会場で学習している者です。10数年前から不定期ながら参加させて頂いています。立地も良く身近な施設なので大変ありがたく思っています。 高齢者の私にとって先生たちの指導も丁寧でこれからもずっと続けたいと思っています。 このような場所（施設継続）があることを心から願っています。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
83	初めてパソコン教室に入り、やっと楽しくなって来ましたので、このまま続けていきたいと思っています。続行できるようお願い致します。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
84	神川元気プラザを利用している子を持つ親です。私は、県立げんきプラザ再編整備計画案に反対し、神川げんきプラザ、加須げんきプラザの継続を支持します。埼玉県教育局に申し上げたい事は、以下の4点です。 ① 元気プラザは非認知能力の育成には、欠かせない施設という事です。今年度、学校で配られたチラシを見て、神川元気プラザの宿泊体験活動（年6回）に参加しました。子どもたちは、初めて会う子たちと、体験を重ねるたびに仲良くなっていき、学校ではなかなか学べないようなことをたくさん学ぶことができました。知らない子たちと1から人間関係を作ること、キャンプなどの自然体験、10kmハイクのような困難に立ち向かうこと、なかなか学校ではできない体験をたくさんさせていただきました。私や子どもたちは他の元気プラザの主催事業を利用したことがありますが、神川元気プラザの主催事業は特に面白いと感じました。今、非認知能力の育成が非常に世の中で叫ばれている中、埼玉県は6つの元気プラザがあるのに、それが減ってしまう案が出てしまい、埼玉の今後の教育環境整備に対し、残念な気持ちでいっぱいです。今閉鎖してしまうのは、今後の埼玉の教育にとって、非常に勿体無いことかと思えます。 ② マーケティング次第で今後の需要はかなり高まっていく施設という事です。自然体験が重視されている今、元気プラザは広告宣伝を都内などにより広げたら、かなりの需要が見込める施設です。今では、リゾートホテルでも、子どものための自然体験などのプランを作っており、高い費用を払ってまでも、体験活動をさせたいと感じている親は多いと思います。利用者をより増やしていきたいのであれば、埼玉県民だけに限らなくても良いのではと感じています。団体利用だけではなく、元気プラザの主催事業をより増やし、関東からの申し込みに幅を広げる事はできないのでしょうか。現段階でも、神川元気プラザの小学生の宿泊体験は、申し込み多数のため、抽選になっており、周りの知り合いも抽選から外れて参加できない友達が多数存在していることも事実です。 ③ 埼玉県民全体への利用のしやすさを大切にしてほしいということです。埼玉には6つの元気プラザがありますが、もし、4つになってしまうと元気プラザは埼玉の西側に偏っています。北部の神川元気プラザ、東部の加須元気プラザを廃止したら、遠方の方は行きにくく、それこそ近場の団体や時間や移動のための費用を捻出できる家庭のみの参加となってしまい、全県民への施設としては不十分になってしまうのではと思います。群馬県も高山村、前橋市、太田市と分散していますが、埼玉県も分散させるべきではないでしょうか。現に神川元気プラザの主催事業に参加している家庭は、もちろん北部に住んでいる家庭がほとんどで、仕事の合間や子育ての合間で送り迎えができる距離だから参加できるという家庭が多いです。神川元気プラザがなくなってしまうと、北部に住んでいる家庭が自然体験できる機会は特に減ってしまうと思います。 ④ この県立げんきプラザ再編整備計画案を知らない利用者が多いということです。県のホームページ以外にも、利用者、利用団体への案についてのチラシ配布もしくは文書の発送などは周知するためには必要な作業かと思えます。実際に神川元気プラザを利用している学校関係者にも複数問い合わせましたが、問い合わせた全ての関係者がこのことを知りませんでした。これは問題ではありませんか。この案について、利用者、利用団体にも周知しなければ、県民の意見も吸い上げることはできないのではないのでしょうか。 私は、埼玉県教育に対して、昔から信頼と誇りを持っており、そのため埼玉県に定住することを決心いたしました。今でもその気持ちは変わりません。埼玉県教育委員会の皆様が、素晴らしい決断をしてくださると信じております。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。 これまで実施されてきた様々な事業のノウハウ等は継続する施設において可能な限り引き継ぐこととし、引き続き充実した体験活動が行えるよう努めてまいります。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
85	① 有識者会議委員の委嘱メンバーに偏りがみられる。全て教育関係者で構成されており、埼玉県の主導による整備計画案に基づいて提案されている。 ② 会議回数が4回と少なく、結果有りきの会議内容であり十分に議論が尽くされているとは思えない。 ③ げんきプラザの設置目的の意義①集団宿泊活動、自然体験活動②青少年の健全な育成③生涯学習活動の振興から言えば、提案されている案では単に③が切り捨てられている。案を正当化するための資料として作られているとしか思えない。 ④ 説明会でも県とし行政改革は不可欠との趣旨の発言があり、資料を見る限りでは、規模、利用人数、年間の維持費等を考えれば、大滝、長瀬の効率が悪い。計画案の視点がすべて学校教育の延長線上で議論されており、林間学校等宿泊を伴う利用の優先度が重視され、加須など利便性の高いスポーツ及び文化活動の生涯学習振興分野(今後の方向性2)への支援が全く考慮せず、時代の変化ニーズに即した計画案とは程遠い。当初の役割分担、少年自然の家、青年の家、グリーンスクール観点からも再編に当たり少なくとも1か所は青年の家を残すべきである。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
86	加須げんきプラザのパソコン講座に通っている母から、当館が閉館するかもしれないという話を聞き、一言意見をと思い、メールさせていただきました。私の家族も、コロナ前、市で企画された英会話宿泊キャンプで、こちらを利用させていただきました。英会話はもちろん、ピザ作りや、体育館でのスポーツ交流など、楽しい思い出ができました。他、私の友人や親戚も、体育館でのクラブの大会や講座に参加するなど、こちらを利用しています。コロナを経て、宿泊体験などは、以前よりも難しいのかもしれませんが、少子化で子どもどうしの交流が希薄になっている昨今、このような施設での体験学習は、子どもたちにとって、貴重な経験になってくると思います。また、年配者向けの講座も、こちらの施設は、非常に利用しやすいと聞きました。 そういった人々の交流できる機会、そして、その環境がなくなってしまうことは、とても残念です。自分の県、市に、このような施設があることをとても誇りに思っています。リフォーム工事も、終了したばかりで、とてもきれいだと聞いております。なんとか、存続を望みます。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D
87	げんきプラザの設置意義についてですが、宿泊体験のみを残し、生涯学習を切り捨てる理由がわかりません。現状では、施設の利用は学校体験活動の一環として行われており、せいぜい就学期間中に1回～2回利用する程度です。今後子どもの人数が減少していく中で、宿泊利用が増えるとは思えませんし、特別な支援が必要な子どもや様々な課題を抱える子どもたちが、交通が不便な場所へ積極的に行けるとは思えません。宿泊学習体験はもちろん必要ですが、現在の使用状況を資料でみると、生涯学習向きの施設を廃所にしてまで宿泊型施設を残す必要がわかりません。 加須げんきプラザは唯一の都市型施設で、日帰りの利用とはいえ生涯学習の拠点として有効に活用されています。パソコン教室などは、ほんとうに必要としている人がたくさん学んでいます。いきなり取り上げるのはおかしいのではないのでしょうか。確かに、自然体験は充分できないかもしれませんが、体験活動はできますし、宿泊体験もプログラムの作り方によって可能だと思います。また、加須市の災害避難拠点になってもいるので、急に廃所にするのはどうかと思います。 (閉所時期を指定管理機関を考慮して令和7年度末としていますが、直営である以上関係ないのではないのでしょうか?) ぜひ、廃所を白紙にしてくださいませようお願いします。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
88	私は、加須げんきプラザ及び神川げんきプラザの廃止に反対です。存続を強く希望します。上記施設の廃止に反対する理由は、下記のとおりです。まず、神川げんきプラザは、年１～２回ほど、今まで計５回程度、利用させていただきました。神川げんきプラザは、場所としては小高い丘に位置しており、昨年にクマとの遭遇が県内及び近県で多発した際でも安心して参加できる、数少ない施設と考えています。こちらの主催イベントでは、未就学児から参加できる川遊びや、小学生の英語合宿などで抽選に当選し、他のげんきプラザにはない体験をさせていただきました。また、参加した防災体験では、野外調理でインスタント食品を利用したり、体育館にテントを張って滞在することで、疑似的に避難所体験をすることができ、目から鱗が落ちる思いをしました。体育館では、テント設営により他人からの目からプライバシーが守られているとはいえ、話し声、いびき、においなど耳・鼻・口といった五感をもって避難所の不自由さを知り、参加できなかった親戚にも経験を伝えました。そのほか、神川げんきプラザの夏や冬のキャンプも、非常に充実したものと聞いています。また、加須げんきプラザは、過去に１～２回、利用させていただきました。埼玉県のげんきプラザは自動車を利用しないと辿り着けない場所が多い中、公共交通機関を利用して容易にアクセスできる施設は、大変利便性が高いと感じています。車酔いをするこどもを連れて参加できる施設は、とてもありがたいです。加須は主催イベントが少ないので利用機会が少ないのですが、人口の多い県南部から日帰り利用ができる数少ない施設です。異文化理解、国際化、音楽などの文化に触れるなどのテーマについては講師を招きやすい利点もあると思います。また、都会生活を送る私たちにとって、突然の大自然の中よりもかえって過ごしやすい施設ですので、広い中庭などを活かして、野外慣れするためのイベント（たとえば焚火、テント泊、災害避難の現地訓練など）や救急時の初期対応などのイベントを開催していただけると助かります。近く環境科学国際センターの研究内容をこどものSTEM教育向けにアレンジして提供したり、伊奈市の県活で行っているような複数回にわたる学習講座などでも集客できる施設と思います。昨今では、教育はIQではなくEQを伸ばすとか、先取り勉強ではなく自然体験や交流体験をさせるといった家庭教育が大変重視されていると感じます。しかし、他の都県では広く行われている「森のようちえん」やプレイパークが埼玉県内に少なく（または情報がなく）、こと宿泊を伴う自然体験については、小学生になって参加できるげんきプラザの主催イベントがほぼ唯一の機会と感じます。 私自身はアウトドアに詳しくはないため、家族だけでアウトドア体験をしてはいなかったのですが、げんきプラザでは、イベントに親子で参加して学ぶことができる点も、大変ありがたいと思っています。埼玉県のはげんきプラザは、都会生活を送る親子にとって、非常に安価で、ほかの家族と交流しながら、施設のスタッフに指導を受けて自然活動ができる大変貴重な施設です。私のこどもたちは、げんきプラザの主催イベントの後はとても生き生きとしていますし、次に参加できることをいつも楽しみにしています。もしげんきプラザが十分に活用されていないとみられるのであれば、直接の原因は、その利用条件の厳しさからだと思います。５人以上の集団でないと宿泊できないため、１家族で利用しようにも、夫婦と３人以上のこどものいるご家族でなければ利用できないこととなります。この条件は、３人家族や４人家族を不当に排除していると感じます。たとえば、他に施設利用者がいる日程については、施設利用者合計が１０人以上の場合に宿泊可能とするなど、条件緩和を希望します。また１ヶ月以上前に宿泊申込をして活動計画を提出しなければならぬのは、忙しい共働き家庭やシングルマザーなどでは対応困難です。これらの条件のため、私は仕方なく近県の青少年自然の家を利用しておりました（が、近県では閉鎖が相次いでいるのが大変残念です）。また、げんきプラザでは、英語合宿は、現在は限られた施設・限定された学年しか行われていません。英語の宿泊イベントは、起居寝食などの日常動作を英語で学び、四六時中、英語に触れることができる、疑似留学体験ともいえます。学年制限を外すなど、より利用しやすい形で行っていただくことを希望します。私の住む市では、市民の意見を聞く機会もなく、警察署、がんセンターや病院などの重要施設を含む市営施設が次々と廃止され、さいたま新都心などに移転されました。そしてその跡地は、数年たってもいまだ草むらのまま、利用されていません。施設面でも活動面でも素晴らしいげんきプラザが、「再編」の名目のもとにこのようになってほしくはありません。ぜひとも、加須げんきプラザと神川げんきプラザを存続させ、使い勝手の良い施設にさせていただくことを強く希望しております。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。これまで実施されてきた様々な事業のノウハウ等は継続する施設において可能な限り引き継ぐこととし、引き続き充実した体験活動が行えるよう努めてまいります。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
89	弊協議会は1～2年に1度の頻度で加須げんきプラザを宿泊利用をしており、その他に日帰り利用も年に1,2度利用しております。弊協議会の事業は年間でも10本程度であり、その1～2割は加須げんきプラザで実施していることになります。加須げんきプラザ全体として日帰り利用が多く、市町村施設で代替可能との方針ですが、加須げんきプラザは東部地域唯一の宿泊利用可能な青少年育成施設であり、これが“1”から“0”になってしまうのは、青少年育成に携わる団体として大きな損失になると考えます。また、加須げんきプラザの立地はさいたま市から一般道でも1時間圏内、鉄道でも東武伊勢崎線花崎駅から徒歩6分と非常にアクセスが良く、これらの宿泊利用の利用者の受け皿となりうる施設は現状他にないと考えます。直営から指定管理への変更などの運営方法の変更はあったとしても、廃止だけは避けていただきたいというのが弊協議会としての意見です。	・県の役割を十分に果たすため施設の目的を宿泊自然体験に重点化することとし、秩父地域や西部地域の施設を存続するものです。	D
90	また、どうしても廃止は免れない場合も、令和7年度末では今から1年後の廃止となり、令和8年度から利用ができなくなってしまうと、これまでの利用団体が別の施設の利用を検討する必要があります。児童生徒を引率する立場として、特に宿泊利用においては十分な下見や施設の理解が必要であるため、令和7年度の事業を実施しながら令和8年度から新たに利用する施設を検討せねばならず、これは非常に困難を極めると思われます。弊協議会に限らず、定期的に宿泊利用をする団体の共通の課題となりえますので、廃止が避けられない場合の廃止時期についても、数年単位での延期をご検討いただけますと幸いです。	・廃止時期については、令和7年度末と考えておりますが、継続する施設で宿泊利用のニーズを満たす施設規模となることを想定しておりますので、できる限り施設の利用希望に対応できるよう努めてまいります。 また、継続する施設を御利用いただけるよう、これまで加須げんきプラザや神川げんきプラザで実施されてきた様々な事業のノウハウ等は継続する施設において可能な限り引き継ぎ、引き続き充実した体験活動が行えるよう努めてまいります。	C
91	「（２）事業の継承について」 げんきプラザが廃止になるのは大変残念ではありますが、大局的な見地からの再編整備は致し方ないことと感じております。そのため、「げんきプラザにおいてこれまで実施されてきた様々な事業のノウハウ等はげんきプラザにとって財産」であることから「継続する施設において可能な限り事業を引き継ぐこと」はとても大切な視点だと思います。 一方で、都市型の加須げんきプラザを中心に歴代の教員籍職員の試行錯誤の実践により開発された「人間関係づくりプログラム」は、遠方の施設に行かずとも学校内において人間関係を深めることができる優れた体験活動です。つきましては、「継続する施設（指定管理）」への継承だけでなく、継承先として、例えば、教員の研修施設や教員養成課程がある大学なども含めて御検討いただけると、プログラムのさらなる普及や開発の可能性もあるのではないかと思います。 もちろん、期間が限られていますので、職員のみなさの負担の増えない範囲でですが、今回の廃止をきっかけとして、「人間関係づくりプログラム」に関心をもっていただける教育関係者が少しでも増えることを願っています。	・加須げんきプラザでは、「人間関係づくりプログラム」の普及のため、学校の教員向けに体験講座を実施するなどしてきたところです。御意見のように、教員養成課程のある大学など、事業のノウハウの活用が見込める施設もありますので、どのように広めていくか今後検討してまいります。	C

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
92	加須市在住の一市民ですが意見をお伝えたく書かせていただきます。私の母はげんきブラザ加須にて【加須げんきブラザの講座】を勉強させていただき、いまなお活動させていただいています。定年退職し、なんとなく気が抜けていた母を「新しいことをやってみたら！」と応募したことがきっかけでした。「朝まんじゅうに昼うどん」とよく言われますが、幼少期、休日のお昼には手打ちうどんをいつも食べていました。おばあちゃんが打ったうどんと母が打つうどんは全く違い、こんなにも違うものかと子どもながらに思ったものです。父が畑をしていたので茹でた青菜が付け合わせ、旬の野菜で天ぶらを揚げ、天ぶらうどんが定番。アルバイトができるような年齢になり、真っ先にうどん店でバイトをし、つゆの「かえし」を覚えると自分の中では完璧です！こだわりはそれぞれのご家庭で違うとは思いますが、「うどん」は本当に身近な御馳走なんですよね。高齢になってもうどんの先生として子どもたちと関わることができ、贅沢なことだと思う一方で羨ましくも思います。高齢になっても好きなことができるとこんなにもキラキラできるのね・・・と。この20年を通して思ったことは、元気な高齢者がもっともっと増えるといいのに・・・ということです。母の同級生は多くは他界されているか介護施設に入所している方がほとんどです。母の様に新たな挑戦をし、多くの方と関わっている高齢者は少ないです。本当にイキイキしています！全国的に介護の問題が取り上げられますが、介護の年齢がうーんと先にできるよう、元気な高齢者を増やしたい！げんきブラザは青少年のための施設のような意味合いが大きいと見受けられますが、学びに年齢は関係ないでしょうし、むしろ少子化で青少年が減少していくのであれば生涯教育に特化した施設であっていいのではと思います。子どもが中心になる社会はもちろん理解できますが、お子さん、親子、でなければ参加できないものも多いように見受けられます。他のげんきブラザのように「山」もなければ「川」も近くにありません。山の上で星空を眺めたり、登山したり、オリエンテーリングをするような環境ではありません。自然がたくさんある環境という点ではどんなに努力をしたところで敵いませんので、逆に交通の便が比較的良好ということを強みにしてみたらと思うのです。駅から近いですし気軽に来られます。 これからは老若男女問わず「生きる力」を育てていくことが大切になってきていますので、「豊かな心を育む」×「スローライフ」の考えから、 例えば「保存食をつくってみる～〇〇回コース」・・・梅干し、味噌、たくあん、キムチなど 「災害に備える～宿泊編」・・・敢えて宿泊先で災害が起こった時に備えて 「災害に備える」・・・火おこし、飯盒、テント張り 「昔の日本を知ろう」・・・門松作り、お正月飾り、しめ縄づくり、おせち料理など 「もっと身近に花を？」・・・花手水、苔玉、ハーバリウム など 「季節を楽しむ 〇〇回コース」・・・草餅、桜餅、おはぎ、いちご大福、など 「おとなの遠足 歩き編」・・・利根川土手まで7KM往復5時間コース 「おとなの遠足 バス編」・・・埼玉県内のげんきブラザ泊など 「食べることは生きること」と講習会で学びました。もちろん、歯がないと食べられないから歯を大切にすることではありますが、「食べたものが体を育て、食べ方が心を育てる」とも。個食（孤食）ではないものを食べたところで「心」が育たないということです。コロナの期間があり、人と会ってはいけません、喋りながら食べてはいけません、コミュニケーションの欠如の期間があまりにも多かったので個人の時間が増えました。心が壊れる方が多かったですよね、子どもも大人も。だから、人が安心して集まる場所があって欲しいのです。知らない人でも知ることができるように、げんきブラザの情報も「フリーペーパー」や「自治会の回覧板」に掲載するなど身近な媒体がいいのではと思います。自分から埼玉県のHPを閲覧するひとは限られるでしょうし、SNSも同様です。可能であれば、花咲徳栄高校や平成国際大学の学生との交流機会もあったらいろいろな年代が気軽につながるチャンスにもなるでしょうね。外国の方も増えているのであれば、他国の文化を教えていただく機会もあったら面白いと思います。もっとも人と関わることが楽しいと思えるよう、学びたい！知りたい！が叶うよう、自然と触れ合うだけでなく他人と触れ合う機会を増やせるようげんきブラザが機能していただけたらこんな嬉しいことはありません。そして、母の学ぶ場所が存続できるよう心から願っています。85歳でも頑張っている母の姿をみて「よし！自分も頑張ろう！」と思ってくれる人がひとりでも増えたらいいなあと。	・げんきブラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきブラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D

番号	御意見の内容	県の考え方	反映状況
93	かみかわ元気プラザをなくさないでください。ぼくはかみかわ元気プラザでたくさんの友だちができました。たくさんのおそびをしました。10キロハイイクはたいへんだ。だけどとても楽しい思い出ができました。一番楽しかった思い出はメタルマッチやマッチで火をおこしたことです。二番目はみんなといっしょにおふろにはいったことです。三番目はみんなといっしょにふとんでねたことです。こんな楽しいたいけんができる元気プラザがなくなってしまうときいてなくなってほしくないと思いこの手紙をかきました。ぼくたちの元気プラザをまもってください。よろしくおねがいします。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。 これまで実施されてきた様々な事業のノウハウ等は継続する施設において可能な限り引き継ぐこととし、引き続き充実した体験活動が行えるよう努めてまいります。	D
94	・利用状況を見ると、コロナが治まると共に利用が増えている。今後のニーズを考えると高齢者が増え、加須水深地区は若年層の人口が増えている。昔と比べると車を持たない若者も増えている。駅から600mという駅近の施設を利用したい人は多いのではないかな？ ・災害時、認知症や障がいのある人は、集団の中（避難所）で生活するのがむずかしい。家族と宿泊できる場所が必要。加須は農業体験などできる場所が多いし、農業自然体験を教えることができる高齢者が多い。将来的な食糧危機が心配される中、輸入に頼らず国内で安全な食べ物を獲補できるようにしなければならない。全世代に学びが必要であり、それに適した施設である。トランプ政権になり世界が大きく変わろうとする中、様子を見て決め直しが必要。加須は平らで山林ではできない体験を、多くの世代を超えた人にしてもらいたい。令和に入ってから改修しており、きれいだし、現在施設利用をしている【加須げんきプラザ利用団体】の活動は、これからのデジタル社会で生きるために大切な活動だ。この施設をぜひ残して欲しい。	・げんきプラザは、市町村では実施が困難な事業を行うことを目的に設置した施設です。加須・神川げんきプラザにおける利用の大半は市町村で代替可能であることから閉所の対象としました。	D